

---

# BLEACH 転生者

ゆき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

B L E A C H 転生者

### 【Nコード】

N 5 7 8 4 Y

### 【作者名】

ゆき

### 【あらすじ】

神のミスにより転生したB L E A C H の世界で戦いや日常とか描くものかな

## ブローグ

突然ですけど俺死んでしまいました

・・・うん、みんなの反応はよくわかるまあ気にするな

気になるか

とりあえず、今までの経過を教えようじゃないか。

まあ友達と一緒に家に帰る途中でした

あるビルの近くを通りかかったとき上から鉄骨がたくさん落ちてきました

それで俺死にました

きずいたらベットの上がなくて知らない昔の家だったんだ  
家の中を見渡すと家具や生活に必要な最低限の物が置いてるんだ

「俺死んだはずじゃないっけおかしいな。あれは結局夢だったのか  
？まあ夢おちかよかった」

独り言を呟いているとテーブルに手紙が置いてありました。

えつとすいません本当はあなた死ぬはずじゃなかったですごめんなさい

本当は友達の方が死ぬはずだったのにだからジャンプの中のどっかに転生させました

お詫びとして軽くだけ力を強くしたからそれと若くしたからねじや頑張つてー神より

「ええええええ！？」

だって、神様とか転生とかありえないでしょ小説の中とかのことでしょ

それに俺の今の歳は一五歳になってました

まあ、起きたら仕方ないな。間違いは少々納得いきませんでしたけど。

名門大学の一年生でしたのにせっかく頑張ったのに水の泡だとか思ったりもしたんだよな  
だけど原作に関われたら許そうかなと思った

で、今の自分の居場所を確かめると”空座町”という場所だった。  
うん、完全にブリーチだな。

ただ、なんか環境が違うなんか1800年代ぐらいかな。  
原作介入できないのは残念すぎる 神ようらむぞ  
だけどいいか普通に暮らせれば

まあ、俺のそんな考えは甘かった。

1年後 俺は十六歳という若さでまた死にました  
なんでかって そうだななんか散歩をしている途中に頭上から大きな木材が落ちてきて死にました。

また頭上から物が落ちて死亡ですよ（俺呪われているのかな）

やはり、また目が覚めたらなにも無い場所に居ました

そして、俺の目の前には気が遠くなりそうな位長い人の列がありました

なんでもソール・ンサエティ尸魂界に入るには列に並びました。

それから何日かたってから入れました

結果、俺は運良く一番治安がいい場所に転送されました

適当に暮らそうと思いましたがせっかくこれたんだから死神になろうかなそう思ってた

真央霊術院に入学しました。

俺の霊力が高いらしく楽に入学できました（霊力が高いのは神のおかげだと思う）

そしてとても大変な六年を過ごして卒業しました。  
それからいろいろなことがありました（過去編で描くのでカットします）

意外と俺に才能があったのが驚きました

8番隊に入ってから毎日死ぬほど本気で修業しました（修業時間18時間でそれから仕事をします）

修業と虚退治は楽しいからいいですが

その後に休憩時間2時間仕事をするんですよ（疲れている＋めんどくさい）

そんな修行しても隊長にはならないと思いましたが

気が付いたら十番隊隊長になっていました

あれ何で俺なんで隊長になっっているんだか思いましたが  
まあ楽しい いや楽しかったが正解かな

それと原作キャラは多数会いましたよ例えば当時五番隊隊長だった平子さんや

十二番隊隊長の浦原さんに会いました。あと、隊長になる前は俺は八番隊三席で

その時隊長をやっていた京楽さんとも仲がいいです。まあ仕事をしないから

その分俺らに来るのでどっちかっていえば嫌いな方です

俺も知らない大きな事件も幾つか起きましたけど三十〜四十年ぐらい隊長をやってたら初の原作イベントに遭遇しました。そう、浦原さんや平子さんが十三隊を抜けた時です。

だって、十三隊に居ると縛りがとても多いですから 仕事も多いし。他にも理由がありますけど俺は自由に生きたい（毎日が退屈過ぎる）ので抜けてしまいました

それで現世に逃だしました！！

適当に現世で散歩していたら猫が手紙を持ってきました

えっと久しぶりだね神だよ覚えてる

覚えているよね忘れていないよね

今回手紙出したというあなたのためにアパート借りてやったんだからね

これが最後のお詫びだからね まあ頑張って下さいな

ああそうだこの手紙を読み終わったら10秒後爆発するから

「なんだよそれ」

独り言で言った後その後走って逃げましたよ

それとアパートは織姫のとなりの部屋です（ラッキーと思いました）

結構たって最近は空座高校に入学しました。なぜならば原作があと少して始まりますから

介入するために入学しました。容姿は死んだ時のままなので見た目は完全に高校生です

原作介入って憧れませんかこういうことがあるとどんな人でも介入したくなりますよね

まあそんな感じだ

俺つきもりて名前そつが言つたけ 多分言つてないから名乗るぜ  
俺は月森蒼牙これからよろしくな



## プロローグ（後書き）

読んでいただいております

これ書いてからなんか恥ずかしくなりましたが私は気にしません

まあ次回も読んでいただければいいのかな

## 第一話

side月森

はあ、学校って面白いことなんてあまりない、いや全くなくて全然面白くありません

まあそんなことでたまに学校サボります　なぜか俺帰っても何も言われませんでしたよ

まあそんなことはおいとして

一護死神になったらいいです最近見かけているようになりました。

本当はなるとこ見たかったけどいけなかったて言うか

いったらなんか話が変わりそうかなと思っていきませんでした

それで原作ってどんなんだっけたしか織姫のが先だっけ石田かチャドだったけ

わからないなというか忘れた

まあもうすぐ起きるのは間違いないだろうそう思いながらも学校で寝る

昼休みになんか今日転校生が来たらしいと聞きました

朽木ルキアらしいです

なんか性格が良いとか話を聞きました

まあ違うとわかっていますが

まあ寝て学校終わりました

俺のこと興味ないのか少しだけ霊圧出してもきずいてませんでした  
鈍感なのか俺が地味なのかどっちだろう

その後浦原さんに頼まれた虚退治しました  
虚退治は簡単だからいいですが

あいつらにきずかれるのはめんどくさいから一瞬で終わらせます

うん、今日の仕事終わり

終わった後に織姫と一護がいるところを見ました  
多分、今日だな（あれ何で俺そう思ったんだろう）

浦原さんの店で虚退治の賞金もらいました

「浦原さんちよつと勉強部屋行っていいですか」

まあ最近本気出していないので腕が鈍っていないか確かめないと  
「はい、別にいいですよ」

そうして俺は勉強部屋に行きましたよ

俺は3本の斬魄刀を持っている  
隊長になる前もいまも1本のことしか言ってないし（あいつら以外はな）

なんでかってばれるとなんかめんどくさいことになりそうじゃねえか

久しぶりに本気でやってみよう

そう思ったが面倒だ 始解や正解それに技の種類がたくさんあるかな

終わったら

「うん、やっぱり腕が鈍っていたな。ただ感覚だけは取り戻せたな」

そういった後に気づいた  
あたり一面がデコボコいやものすごい穴があいている  
穴の底は見えない

「うわ、やりすぎた。やべええ」  
反省をする

浦原さんとかにきずかれる前にここは逃げよう  
勉強部屋を出て浦原商店を出ようとすると

「お帰りですか」

振り向くと浦原さんでした

「浦原さん・・・その・・・貸してもらって・・・感謝します・・・じゃあ急ぐので」

全速力で逃げます  
なんか許してくれそうだけど

もしも穴とか埋めるとかいわれたら大変じゃん面倒だし

ふうここまでくれば

今日はやりすぎたな2時間も正解の状態でいたからな  
だけどもまあ久しぶりに本気出せてストレス発散になるぜ

ああ眠い(その時俺はきずいていなかった)

その夜は深い眠りにつき……ませんでした

なんでかってそれはとなりの部屋で爆発音とかがするからです  
あ……今日だったのか  
しばらくすると音は止みました

一護とルキアが出て行くところ見ると  
俺はストレスが溜まったのでストレスを虚にぶつけるために退治に  
行きました

見つけた虚を一瞬で消していきました

うん、俺が残虐非道かっていいじゃねえか（俺のストレス発散＋人を襲えなくなるで一石二鳥じゃねえか）

深夜ぐらいでスッキリしたので寝てやった

まあ、そんな感じで夜が明けていったわ

あとかぎ

3本の斬魄刀の名前何にしようかなと考えます

もしよかったら考えてください

ちょっとネタばれですけど 嵐空<sup>らんくう</sup>か疾風<sup>はやて</sup>どっちがいいでしょうか

もしよかったら他の斬魄刀とかも考えて下さい

水とか名前付いたのとかあといくつかの名前考えてください



## 第一話（後書き）

まあこれくらいでいいのかな

あとがきに書いてある通りお願いしますよ私も頑張るので  
あとどっちがいいか教えて下さいな

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5784y/>

---

BLEACH 転生者

2011年11月20日01時18分発行